

# 感性文化学・美学

## Study of Culture and Aesthetics

日常の中にあなたは何を発見しますか

### 設置の趣旨・概要

現代は、つねに新しい局面に対処していかなければならない時代です。目の前の1冊のマニュアルは、今日は役立っていても、明日には使いものにならなくなるかもしれません。だからこそ今ほどどんな状況にあっても的確に判断できる真の思考力が要求されている時代はない、といえるでしょう。そのためには、自分たちの生活の「根」を掘りおこし、根本から見直し、分析・総合することが必要とされます。この前提に立った上で、本副専攻では、思考力（問題発見能力や解決能力を含む）の開発と自己相対化の能力を磨くことを到達目標とし、1)メンタリティーと制度の問題、2)美意識と3つの「C」、つまり「コミュニケーション/コミュニティ/コンシャスネス」の問題、さらには3)異文化間の理解と解釈の方法論の問題、この3つを射程とする文化研究を行います。

### 履修モデル

- 1) コア科目は、10の演習・講義科目から成り立っています。そのうちの1つは修了論文作成のための修了演習科目（必須）です。必要単位は6単位以上、したがって履修者は、演習+講義（あるいは演習）+修了演習科目の3つをコア科目として選択することが望ましいでしょう。演習を選択することができなかった場合には、2つの講義科目と修了演習科目という組み合わせもあります。
- 2) そのほかに選択科目からは、自分の研究課題に応じて12単位以上修得してください。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	個々の専門的な知識のみならず、様々な領域の知や異文化を結びつける高度な応用的思考力とネゴシエーション力、さらには先見的な開発力を身につけることとなります。	・より高度な学術的研究を目指すことも、また現実の職場での展開も可能。 ・国内外の芸術・文化に関わる職種はもちろんのこと、サービスから専門職まで。

### 学生へのメッセージ

文化には色があります。日本社会だからこそ起こりやすいミス、事故、犯罪、日本人だからこそ受け入れやすい善、正義、美しさなど、出来事や事柄にはその背景にある文化の色がついています。その色を取り去ってしまうと、どれも同じように見えるのですが、本当のところ構造式は異なっているのです。どんなものごとについてであれ、それがおかれている歴史、風土、状況、コンテクストを無視しては語ることはできないわけです。ところが私たちは、つい自分の考えたことがどこにでも当てはまることであると考えがちです。他者理解のゆがみと判断の誤りはここに由来します。これは日常世界の1シーンから、外交関係にいたるまであらゆる局面についてあてはまります。

この副専攻で共有する時間と空間を通じて、「美」をキーワードとして、私たちのコンシャスネスを覚醒させ、これまで目で見ることのできなかつたコミュニケーションとコミュニティのネットワークを実感しましょう。そこで質問です。階段を上るときにじっとその階段を眺めてみたことがありますか？電車から降りる人の流れを見て驚いたことがありますか？私たちの研究、それはごく日常的な光景からはじまります。そして最終的には問題の根となる文化的な背景を発見することになります。

私たちの副専攻では、積極的に海外に行くことをお勧めします。もちろんそのための助力も惜しみません。また国内・国外での共有できる場の提供も行います。たとえば、講義科目「感性と文化」は、ドイツでのそういった場であるといえます。また近隣アジア諸国への研修旅行も計画しています。もし可能であれば、そういった機会に皆さんもぜひ積極的に参加してください。

最後に、このようにして私たちが至りつくところとは、どこでしょう。表面的な「美しさ」や「醜さ」としては理解できない新たな価値の次元です。ありきたりの美しさではない「美しさ」を考えていくことになるわけです。「感性」の問題もそこであらたに問い直されるでしょう。

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

18単位（コア科目6単位、選択科目12単位）以上

### ★コア科目

修了必要単位 = 6単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	評価	備考
1	オープン	感性への問いの射程	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2	○	
2	オープン	感性と文化	酒井 紀幸 他	1年以上	前期夏季	木5時限	早稲田	4	○	海外実習あり、8/3~25、実習費用360,000円
3	オープン	文化の哲学	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2	○	
4	オープン	感性コミュニケーション	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	木1-2	早稲田	2	○	上級生優先枠6名
5	オープン	アートと感性への導入	酒井 紀幸	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠6名
6	オープン	アートと感性の研究	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠6名
7	オープン	感性と死の問題の研究	御子柴 善之	1年以上	春学期	月5時限	早稲田	2	○	
8	オープン	東洋の感性への導入	大久保 良峻	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2	○	
9	オープン	全学共通副専攻修了演習（感性文化学・美学）01	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2	○	履修必須
10	オープン	全学共通副専攻修了演習（感性文化学・美学）02	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2	○	履修必須

### ★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	評価	備考
1	オープン	感性への問いの現在	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	○	
2	オープン	美意識の比較研究	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	
3	オープン	心と自然	桜井 洋	1年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
4	オープン	感性と死の問題への導入	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2	○	上級生優先枠6名
5	オープン	日本の古典文化における感性	陣野 英則	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	○	上級生優先枠3名
6	オープン	東洋の感性	大久保 良峻	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	○	
7	オープン	イメージと感性	小林 信之	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2	○	追加
8	文構	感性論	小林 信之	1年以上	春学期	木4時限	戸山	2		
9	文構	芸術論	山本 恵子	1年以上	秋学期	水5時限	戸山	2		
10	文構	生活環境美学	山本 恵子	1年以上	春学期	水5時限	戸山	2		
11	文構	現代美学の射程	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
12	文構	美の制度	内藤 李香	1年以上	秋学期	木5時限	戸山	2		
13	文構	愛の制度	酒井 紀幸	1年以上	春学期	火4時限	戸山	2		
14	文構	<さらす／覆う>の構造学	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	木6時限	戸山	2		
15	文構	食の文化	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	木6時限	戸山	2		
16	文	美学1	酒井 紀幸	1年以上	春学期	火5時限	戸山	2		
17	文	美学2	山本 恵子	1年以上	秋学期	火5時限	戸山	2		
18	文	仏教漢文の世界	大久保 良峻	2年以上	春学期	火2時限	戸山	2		
19	文	漢文講読2	大久保 良峻	1年以上	秋学期	火2時限	戸山	2		